

ひろくんニュース

VOL. 5



《募金活動報告》

合計 1億3855万9448円

ご協力ありがとうございました。

募金活動は終了しました。

ひろくん、お帰りなさい!!!

ひろくんが元気な姿で、9月4日(火)帰国、11日(火)長門に帰ってきました。



各報道機関でも取り上げられましたが、9月4日、ひろくんが約8ヶ月ぶりに帰国しました。帰国後、ひろくんは1週間、大阪大学付属病院に検査のため入院しました。

9月11日(火)18時、ひろくんは、ご家族と一緒に、長門市役所前で出迎えてくださった多くの人の中に、とっても元気な姿を見せてくれました。

～御両親からのコメント～

「必ず元気になった宏典を連れて帰る!」と、心に固く誓って、成田空港を飛び立った1月23日。「これが宏典を抱いて見る最後の日本になるかもしれない」という覚悟した日でもありました。

ニューヨークの病院に着いて、すぐに診察があり予想を超える状態の悪さに、ドクターから「移植手術が、できなくなるかもしれない」と言われました。そして状態は徐々に悪化していき、「もう宏典の体は限界かもしれない」と思った2月24日、移植手術を受けることができました。

6時間半の移植手術は、見事に成功し、その後心配されていた臓器への後遺症も残らず、すべてが順調に回復しました。宏典は日を追うごとに体力もつき、現地でお世話になったボランティアの皆さんに愛されながら、元気で活発な愛らしい男の子に成長してくれました。

帰国前、挨拶のため病院を訪れると、ドクターやナースが集まってきて、「ヒロ、君は奇跡の男の子だよ、ぼくたちのヒーローだ。」とあって祝福してくださいました。目の前で、すべてを見てきた私でさえ、今の宏典の姿は、まさに奇跡だと感じます。宏典の強い生命力と、皆さんの祈りに守られた命の奇跡です。

先日、1年2か月ぶりに自宅に戻り、布団を並べ家族5人で眠ることができました。子供たち3人の寝顔を夫婦で見つめながら、今日の日を迎えられた幸せと、家族が共にいられる幸せを二人でかみしめました。

この日を無事迎えることができましたのも、これまで宏典と私たち家族を見守り、励まし続けてくださった皆さんのおかげです。心より、感謝申し上げます。皆さんに守っていただいた宏典の命です。まだまだ、免疫抑制剤の服用による感染症の心配や、薬の副作用の問題などもあります。どうかこれからも私たちと共に、宏典の成長を温かく見守り続けていただけますよう、切にお願いいたします。

本当にありがとうございました。



阿波 秀範 ひろみ